

第1回

大気汚染、 PM2.5、花粉の話

【講師】 久世 宏明（千葉大学教授）

大気中にはいろいろな物質が浮遊しており、中でもとりわけPM2.5に代表されるような粒子状物質、植物の花粉、黄砂などが住民の健康に与える影響が問題なっています。この教室では、こうした浮遊物質の由来や空の色との関わり、また、地上や上空から科学的に計測する方法などについて千葉大学での最近の研究例を含めて解説します。

- 【日時】 6月5日（金）18：00～19：30
- 【場所】 千葉市科学館10階探究実験室
- 【対象】 高校生～大人
- 【定員】 先着30名
- 【料金】 常設展示入館料のみ



【事前申込 ☎ 043-308-0519】

受付時間：9：00～19：00

※複数の講座申込可

👉 大高館長の講座おすすめポイント！

昔は花粉症などは聞いたこともなかった。杉やヒノキに悪気はないのに目の敵にされて気の毒と言えば気の毒。PM2.5などととともに、大気に浮遊する微粒子とその観測のお話です。マスクで防御という受身一本槍だけでなく姿を見せない敵のあわせワザをさぐりたいものだ。観測のプロの久世教授によるそういう話も聞けるかな。

後援：日本リモートセンシング学会 / 千葉大学環境リモートセンシング研究センター